

第6回保育士養成課程等検討会における 検討内容（例）等に対する主な意見

- 乳児、3歳未満児への保育について、それぞれ、ねらい及び内容が示されたことを踏まえた、「乳児保育」に関する内容の充実、科目の検討

【主な意見】

- 新たな科目の設定又は科目の充実が必要。
- 「第2章 保育の内容」には、旧保育指針「第2章 子どもの発達」が含まれている。保育と関連づけた子どもの発達や学習についても学ぶ必要がある。
- 3歳未満から3歳への発達や生活の連続性について、盛り込むべきではないか。

- 保育活動の全体を通じた「養護」の観点や「養護と教育」の一体的展開の重要性、安全な保育環境確保の要請等を踏まえた、「保育における養護」に関する内容の充実、科目の検討

【主な意見】

- 保育における養護について充実すべき。
- 養護と教育の一体という中で養護の視点と教育の視点を整理し、技術面や内容の充実が必要である。
- 養護と教育が一体になって展開されていく様子が分かるような授業を組み立てる必要がある。
- 厚生労働省が策定した各種ガイドラインについて、どの科目で取扱うか整理する必要がある。教授内容にガイドラインを明記することも考えられる。

- 保育所保育が幼児教育の重要な一翼を担っていることを踏まえた、保育内容に関する科目（「保育内容総論」「保育内容演習」等）の内容の充実、「保育の計画と評価」に関する科目の検討

【主な意見】

- 「養護」と「計画と評価」が第1章に入り強調されており、単位化又は内容の充実が必要ではないか。
- 幼稚園教育要領ではカリキュラムマネジメントとして、子どもや保育に対する評価する能力を高めることを取り上げた。保育士養成課程においても、同様の

視点が必要。

- 保護者と連携した「子どもの育ちの支援」という理念を踏まえた、関係科目（「家庭支援論」「保育相談支援」「相談援助」）の整理・充実、「子育て支援」に関する科目の検討

【主な意見】

- 保護者への対応については、総合的な力を養うことが重要。
- 対人援助関係科目数は増えてきたが、重複している部分や充実する内容を整理する必要がある。

- 現職研修の充実による資質・専門性の向上や他の専門職種との連携の必要性等を踏まえた、「保育者論」等の内容の充実

【主な意見】

- 「保育者論」の中で養護を強調していくことも大切ではないか。
- 学生に保育の現場の魅力や、やりがいを具体的なイメージをわかりやすく伝えていくことや、実際に現場に行く機会を増やす事等を通じ、学生のモチベーションを上げていくことが重要。

- 子ども・子育て支援新制度の下で、幼稚園教諭免許との併有への対応が各養成施設で求められていることを踏まえた、科目の分類や教授内容の示し方等の検討

【主な意見】

- 幼稚園免許との併有促進を行っている中で、幼稚園のカリキュラムの見直しとの整合性も考慮しなければならない。
- 保育所保育全体を通じて育みたい資質・能力が保育指針に記載されたことを踏まえて、保育内容の5領域等についてどのように科目を置くか、考え方の再整理が必要。

その他の意見等

【主な意見】

- 総単位数（68単位）を増やすことは困難。新しい内容を入れることや充実させ

る内容をどのように落とし込むかの工夫が必要。

- 総単位数（68 単位）の簡素化や幼稚園教諭の養成課程の見直しの動きを踏まえながら大綱化を図るなど、養成校の創意工夫が可能になるようにすることも考えられる。
- 演習の定員設定など養成施設の運営に関する課題も見受けられるため、養成課程の見直しに併せて検討。